

第2回生田原地域まちづくり会議議事録

日時	令和2年10月5日(月) 18:30~20:45	
場所	生田原総合支所第1会議室	
出席者	由利会長、大柳副会長、遠藤委員、桑山委員、高橋委員、中野委員、三浦委員、生田原総合支所 大辻支所長、総務部企画課 中原主幹	
欠席者	森委員	
次第	発言者	発言要旨
1 開会	企画課	ただ今より令和2年度第2回生田原地域まちづくり会議を開催する。森委員から欠席の連絡をいただいている。以下の議事進行について、会長にお願いする。
	会長	前回の会議については長時間となった。本日は8時を目途にまとめたい。それに合わせて皆様からの発言も2分程度にまとめていただき、多くの発言により有意義な会議としたい。
2 報告事項	会長	報告事項について役場企画課から説明願う。
	企画課	 <p>コロナウイルス対応も踏まえた地方創生臨時交付金により約3千万円の予算で「遠軽町スローライフ等応援事業」として移住対策に取り組む。まちづくり会議の議論も反映されている。9月定例町議会で補正予算も議決されている。内容については調整のため変更の可能性がある。このほか冊子製作や雑誌掲載などを想定し4百万円の予算も計上している。</p>
	会長	報告事項について、御意見、御質問ないか。
	一同	なし
2 議事 (1) 全体会議に	会長	議事に入る。今年の12月あたりに全体会議を予定している。そこで町長や他地域の委員に向けた報告をするということで、企画課でたたき台を作成しているので説明願う。

おける報  
告内容に  
ついて

企画課

### 1 若者対策

- 【若者のニーズ把握】**
  - ・なぜ、地元に残らないのかわからないと対策もわからない
  - ・会議などではなく、リラックスした雰囲気（インタビュー、SNSなど）聞く
- 【U I J ターンへの支援】**
  - ・自家用車を貸与
  - ・ひとり親家庭にターゲットを絞る
  - ・実家が空家となっている場合のリフォーム費用支援
  - ・家賃・保育料・出産補助
  - ・空家情報の提供
  - ・返還免除付き奨学金制度
  - ・水洗化に対する補助の拡充
- 【しごと】**
  - ・空き公共施設を活用してテレワーク施設を整備
  - ・多様な働き方、住み方への柔軟な対応
- 【教育】**
  - ・町のことをもっと知る教育

### 2 高齢者対策

- 【買物支援】**
  - ・町営バスで遠軽への買物ツアー
  - ・介護保険だと生田原のお店しか利用できない
- 【公共交通】**
  - ・利用者の声をもっと反映
  - ・便数が少なくなり、更に利用しにくくなる
  - ・町民がバスやタクシー事業者の株式を持つ

### 3 ふるさと納税の促進

- 【情報発信】**
  - ・お金をかけてでも受付サイトで目立たせるために工夫を
  - ・もっと力を入れるべき
- 【返礼品アイデア】**
  - ・ヤマベ釣りガイドツアー
  - ・町有施設の回数券
  - ・野菜を送る（年間少しずつ）
  - ・高原メロン
  - ・エゾウコギ、チョウセンゴミシ
  - ・山菜
  - ・石器づくり
  - ・はちみつ

### 5 その他

- ・来年度以降のまちづくり会議について→10/5に集約

以上のとおり発表用の資料のたたき台を作成したので、地域の議論を漏れなく伝えるような報告をしていただきたい。今年度でまちづくり会議は終了する。今後のあり方についての意見を求めたい。

会長	企画課でまとめたものを報告いただいた。内容・表現等についての意見をいただきたい。
委員	返礼品のところで「野菜を送る（年間少しずつ）」は年間定期便という意味の意見である。野菜に限ったものではない。
委員	よくカタログで定期便がある。そういうものでもいい。
委員	Aコースは野菜、Bコースは野菜、肉、Cコースは特産品ならなんでもいい、みたいにざっくりしていてもいい。
企画課	これを膨らませて1ページぐらい使うアイデアにしてしまってもいい。この月はこのアイテムを送るといったように。具体的な発表になってよりよくなる。
会長	内陸地なので海産物がないということも出ていたと思うが他町村とのコラボはできないだろうか？湧別町と共同開発など。
企画課	材料が地元か加工が地元というのを総務省が出しているの、どちらも地域と関係ないとなると苦しいかもしれない。
委員	花の種のセットはないか？コスモスの種に土もセットにして。都会の人にとってはそういうのが楽しいのではないだろうか。
企画課	種はあるが、セットはないのではないかと。観光協会などでそういう商品を作ってもらえればできるかも知れない。
会長	ふるさと納税の返礼品については、企業や農家、商工会など色々な方を交えてアイデアを話す場があると、いいアイデアが出るのではないだろうか。定期便みたいなことをやっているところもあるのか？
企画課	あると思う。ハードルとしては誰がやるかということところだが、アイデアとしてはいいし、遠軽町に愛着が生まれて関係人口の獲得ということにもつながると思う。
会長	ふるさと納税の返礼品について、四季折々の特産品の定期便を提案するというところでよいか？品物まではここで考えるのは難しい
企画課	では、「旬の物を定期便で送る」ということにする。
委員	若者対策でインタビューやSNSなどで意見を聞くという発言をしたが、違うアイデアも聞きたかった。
会長	若者の意見を聞く手段について、アイデアお持ちの方はいるか？
委員	対象を高校生にするか、20～30歳代にするかでかなり違うのではないか。
会長	遠軽町でUターンなどで来て、情報発信をしている若者はいないのだろうか？
企画課	遠軽を発信してくれている若者はいる。また、白滝の江面ファームには結構若い人が集まっている。情報発信にもつながっている。

会長	若い人たちの意見を聞くには、その意見を感じ取れる若い人に聞いてもらう必要がある。SNSなどに馴染んでいる人たちにプラットフォームとしての場を作れないだろうか？しゃべり場みたいなところを。SNSは誹謗中傷のような副作用も恐いが…。
委員	若者のニーズということで、私たちからすれば直接意見が聞ける場があるのは貴重だと思う。若い人はどういうシチュエーションだと本音が話せるのだろうか？こういうところだと、なかなか本音が言えないと思う。例えば飲んだ時とか。あとは誰が吸い取って、誰が実現につなげるという流れがないので、言いつぱなしで終わってしまい、不満にもつながっていく。
委員	確かに吸い取る人も大事。
委員	吸い取って、議会でも、町長でも形にしてくれば、次の意見が出るような気がする。そういうものが見えてこない。この会議もどこまで実現化されるのか。
委員	若者の意見は若手の役場職員に吸い取ってもらっては？若手職員が高校の学校祭に行って、「先輩…」と聞いてもらうような気さくな場所じゃないと難しいと思う。
委員	若者の希望があったとしても、現実に関わる場がここになれば、当然あるところに行く。そこらへんの歯がゆさもある。高校の先生の指導力というのもあるのではないか。うちの子も先生に「こんな小さい町じゃだめ」というようなことを言われたとのことだ。指導者としても本人のことを思っていると思うが…。
会長	なぜ地元に残らないか？この町に受け皿がないというのがある。
委員	商工会青年部で集まって飲み会とかは？
委員	自分が若い人の気持ちが分からない方になっている。今どきの子はあまり夢や希望を語らない。
会長	その辺の難しさを報告し、他の地域にも投げかけてみるか？
委員	私も他地域の人に聞いてみたい。「そういう見方もあるんだ」というものも出てくるかも知れない。
企画課	個人的にはSNSが一番聞きやすいのではないかと思う。ハッシュタグを付けて投稿してもらうというような形で。それにどう投稿してもらうかが課題。“#遠軽のまちづくり”のようなものを作って。それだけだと若い子が投稿するとは思えないが、いいアイデアには10万円出しますとか。「誰が吸い取って、実現するか」は確かにそのとおり。最終的には役場が動かなくちゃならないということがあると思うが、今回説明したスローライフ等応援事業については、かなりまちづくり会議からヒントを得て作っている。今回はたまたま財源もあって実現し

	<p>たので、タイミングもある。確かに聞きっぱなしで終わっている部分もある。返礼品のアイデアをいただいているが、形にするには事業者と調整する必要があるが、なかなかそこまで手が回っていない。常に意見はオープンに聞いておいて、実現できるかどうかはタイミングもある。すべては実現できないが聞く機会を作っていくことが大事なと思う。働く場所の受け皿については、確かに都会にしかない仕事があつて、若い人はそういうものに憧れる傾向はあると思う。先ほど話の出た江面ファームなんかは、都会から田舎に移り住んで農業をしているが、若い人から見て魅力的な発信もしている。それに憧れて若い人が集まっているというもある。若者にとって魅力的な発信は一つあるのではないだろうか。ニーズ把握についても若者向けのやり方があるのだと思う。</p>
委員	<p>IT などの専門的な知識のある人に意見を聞いてみたい。解答が出てくるかもしれない。</p>
企画課	<p>人にスポットを当てて紹介するようなPRをした方がいいという意見もいただいている。</p>
会長	<p>何か若者にとって新鮮な刺激を、移住によって持ち込んでくれたら若者たちも活気づくのではないか。スローライフ等応援事業に期待するところは大きい。</p>
企画課	<p>資料に「情報発信」や「若者の意見交換ができるプラットフォームの構築」などを加えてはどうか？</p>
委員	<p>遠軽高校を出る子たちの将来の希望の職業と、遠軽町に今ある職業、全部網羅するとは言わないが、ある職業とない職業を見える化するというか。IT、カメラマン、雑誌の編集者なんかもあるかも知れない。あるかないかも分からないものを子どもたちにフィードバックすると、「こんな職業だったら帰って来ててもやれる。」と思うかもしれない。第一人者がいれば、少しはやりやすい。「13歳のハローワーク」のイメージで、こんな職業も遠軽町でもできるんだと思うような。</p>
企画課	<p>「合同企業説明会」というのをやっているが、企業に就職するという意味ではそれに近いかも知れないが…。</p>
委員	<p>例えば、ダンスがやりたくて都会に出た子が遠軽にダンススタジオがあると知ると帰って来ようかと考えるようなイメージ。</p>
企画課	<p>求人とは別にこういう仕事があるということか…。</p>
委員	<p>職種を網羅した企業紹介のパンフレットのようなことではないか。商工会などでどんな企業があるか把握しているはずなので、一冊にして紹介したら？ということではないか。</p>
委員	<p>それに近いと思う。例えば歯科技工士という仕事は歯科技工士のことを知らな</p>

		いとなれない。友人に歯科技工士がいるが、彼は親が歯科技工士だったからその仕事を知ることができた。仕事を知ることが大事だと思う。
	委員	そういったパンフレットはない？
	企画課	ない。ただ企業がずらっと書いてあっても読んでもらえないと思う。これは意見として盛り込めると思う。
	会長	高齢者対策について、何かないか。
	委員	生田原にお店がなくなって来ているので、バスツアーは推してほしい。人口が減ってきていて、ここでは暮らせないとなっている人も多い。デマンドタクシーも土日やっていないとか、時間の幅がせまいとか融通が効かないところがある。ふるさと納税の年間定期便もいいと思う。やまべ釣りも推したい。若者対策もなぜ残らないかといったら、やはり仕事がないから。企業誘致を頑張っていただきたい。
	会長	事業承継とか、遠軽町ではそういうものに対策は？
	企画課	今、白滝の農家を引き継ぎぐところはできている。
	会長	そういう時に町は間に入っているのか？
	企画課	今回は入っている。
	支所長	農政林務課で新規就農の支援をやっている。
	企画課	研修なども周りの農家さんがサポートしている。
	会長	これからどんどん高齢化していく中で、高齢者にもお金を使っただき経済を回していく必要がある。
	委員	若者対策の中に家賃、保育料、出産補助というのがあるが、上士幌町は子育てのしやすい町として移住者も来ていると聞いたが、スローライフと連携して保育料無料とか、医療費無料とかが考えられると思うが、遠軽町はそこまでは行かないのか？
	企画課	上士幌とか東川は移住者がたくさん来ていることで有名。多分どちらも財源がある。大きいのはふるさと納税。それを若い人向けに使っているという感じがする。
	委員	湧別も医療費無料をやっている。保育料もだったかな？
	委員	最近テレワークが広がってきているが、次に来るのは子育てがしやすいかの違い。基本的には仕事の場所だが、今の時代はテレワークがあるので、その条件を整えば。
	企画課	人口規模にもよる。小さいところと同等のことをやるとなると相当の財源がいる。医療費についても、まちづくり会議でも以前から議論があるが厳しい。第 1

	期の全体会議でも町長から説明したが、遠軽町で高校まで無償にする場合 8 千万円ぐらいの財源がいる。それは相当大きい。確かに選んでもらう時にお金は大事だと思うが、現実的には上土幌のようなところとの競争は厳しい。
委員	上土幌はふるさと納税で何が人気なのか？
企画課	牛肉とアイスクリーム。先日行ってきたが、うまくやっている。情報発信もしゃれている。パンや豆の商品開発もおしゃれなパッケージで作っている。お試し暮らし住宅も本気で移住を考えている人しか入れないが人気で実績も上がっている。学ぶところはいっぱいある。
委員	お金がないからできませんでは、先に進めない。
支所長	やはり肉に対してのふるさと納税は大きい。
会長	人件費を 600 万円ぐらいかけて、ふるさと納税の企画・運営をやり、人件費分はふるさと納税で賄ってもらって上乗せで何億か稼いでもらう。役場の仕事は生産性が低い。
委員	ふるさと納税は、そんなに魅力があるのか？
企画課	寄附すると 2 千円を超える部分が税金の控除になる。その上に返礼品が届くので、税金を払っている人はした方が得になる。
支所長	遠軽の場合は出ていく方が多いとのことだ。要は税金の取り合い。
企画課	3 億円集められるなら、600 万円と言わず、1 億円払っても価値がある。
委員	役場の担当者がほしい。責任を持ってやる人がいないと、どうでもいいになってしまう。
委員	先日、新聞に地域おこし協力隊で返礼品を開発した話題が出ていたが…。
会長	地域おこし協力隊は 3 年？任期満了した人はいるのか。
企画課	今のところいない。今年度 2 人が卒業予定になっている。何事もなければ満了になる見込み。
会長	定着？
企画課	わからないが、残れるための仕組みづくりなどの話も一部進んでいる。
委員	定着しない理由は？
企画課	他で就職という形が多い。ということは見切りを付けたということになるが…。
会長	今までの話を企画課に預けることでいいか。
企画課	では、内容について確認させていただく。若者対策については、「情報発信」を加える。「若者が刺激に感じるような魅力的な情報発信」をすること。「仕事についての見える化」、ニーズ把握で「意見を吸い上げるプラットフォーム」。「企業誘致」や「事業継承」という話も出ていた。これらを加えるということかと思

	<p>う。</p> <p>高齢者対策については、「デマンドタクシーについて土日、時間の制限があるので広げて」ということ。</p> <p>ふるさと納税については、返礼品のアイデアで「年間定期便」とする。「コスモスの栽培キット」、「企業・農家を交えたアイデアを話し合う場を持つ」。人件費をかけてでも…ということなので、「専門職員を置く」ということだと思う。</p>
会長	<p>センスが求められるので役場職員ではないのではないかと。コンサルのようなところは刺さっているのでは？</p>
企画課	<p>お金を払えばやってもらえる。今回楽天のサイトを作るのに札幌の会社にお金を払ってお願いしている。受付業務も商工会議所に委託したが、多くのところが東京に本社がある会社に委託している。</p>
会長	<p>でも東京の会社にお金が出ていくのはもったいない。地元でそういう能力がある人がいればいいが…。</p>
企画課	<p>お金をかけてでも、というのは元々書いてあるので、それに含まれると思う。ただ、専任の職員というのはいない。アイデアを頂いてもなかなか実現できないのもそういうところがある。</p>
会長	<p>常駐チームで目標 3 億円とかやってもらいたい。お金がないと何もできないというのはさびしいので、なんとかふるさと納税で稼いでもらいたい。</p>
企画課	<p>「プロジェクトチームで目標 3 億円」という感じで入れる。</p>
会長	<p>あとは企画課に任せる。発表者についてどうするか？</p>
	<p>(遠藤委員に決定)</p>
その他	<p>会長 来年度以降のまちづくり会議について、忌憚のない意見をいただきたい。</p> <p>委員 町としてまちづくり会議に求めているのは色んな年代の色んな意見を聞きたいのだと思う。例えば年代別の会議にしたらどうだろうか。年代が近い方が新たな意見が出しやすいと思う。</p> <p>委員 続けていけば、意見も出て何か形にしてもらえるものがあると思う。集まって何年やっても形にならずに…となることもあるかも知れないが、役場に頑張ってもらおうしかない。</p> <p>委員 今日、会議に参加させてもらっているが、会議があることを周りの人言っていない。組織の代表として出ているならば、組織の意見を取りまとめて上げることはできるが、個人としての参加なのでそこまではしていない。組織というのも一つの利用のしかたではないか。</p> <p>委員 自分は最初から来ているが、この会議にはそこまで求めていないということだ</p>

	った。それなら何の会議なのかと思う。
企画課	この会議はあえて組織を代表する形にしていない。まちづくり会議の前身は地域審議会というもので合併特例法に基づいて自治会や商工会などの代表者に入ってもらっていたが、形式的な会議になっていた。また、他にもそういう会議がいっぱいあって同じようなメンバーが集まる。第2期の委員を委嘱するときも自治会連合会という形で参加している方は4地域共通して入れていない。前期からの継続性も考えながらも、女性や若い世代になるべく入っていただくよう配慮した。組織を背負っていただくとは自由な意見が出にくいこともあると思う。
会長	自由闊達な意見の交換という視点で言うと、今年度の進め方で合併の成り立ちから財政の推移を見せつけられ、頭を押さえつけられたという気がすごくしている。行政側のものさしに合わせた中ではなく、一地域住民としての感性で自由にトークして、それを行政の側にどう感じ取ってもらえるかという会議じゃないと。ちょっとこれは違うかなという気がしている。今後進めて行くのであれば、もっとフリーな場にして各年代の中でもっとフランクに話し合える環境の中で、お金の問題は度外視した中で夢のある話を、夢を話せる場で、行政側の感受性に期待したいと思った。
委員	会議を続けていけば、色々な意見が出ると思う。
会長	どこに行っても同じ顔合わせになる。役場の方でも一本釣りではなく、ユニークな意見を取り入れられるよう全く違う顔ぶれにしてほしい。
委員	先ほどの話だと、合併によってやらなければならないものだったということだが、今後もやらなくてはならないというものなのか？
企画課	前身の地域審議会は置くことができるというものだったので、置かなければならないというものではなかった。だけれども、合併協議の中で10年間置きましようとなつて置いたもの。10年間やって、この後どうしましょうかという話を地域審議会の中で頂いて、地域の意見を反映するような組織を置くべきだということで5年間まちづくり会議が置かれたもの。町としては、合併して15年経過した中で地域ごとというのはなるべくなくしていきたいという方向性は持っている。町の方の考えを反映するための機会を設けるのかという視点で考えてもらいたい。町としては置かなければならないというものではないのでフラットに考えている。
委員	あった方がいいと思う。地域として発信しなければならないこともある。
委員	吸い上げ口が一つなくなるのはいやだなという思いがある。反面で行政の側から背景を与えて「分かってるよね」的な形もどうかと思う。

企画課	頭を押さえつけるとは考えていない、役場としては現実を伝えて一緒に考えてもらわなくてはならない。お金の勘定の話は役場が考えればいいという話は正直言って違うと感じている。
委員	丸瀬布、白滝はどうなっているか？
企画課	どちらも続けてくださいということになった。
委員	続けるなら代打性があるといい。今日休むので誰々さんが行きますというように。自由闊達な意見交換ということで。
企画課	オブザーバー参加ということなら、参加してもらうのは構わないと思う。
会長	生田原地域としての考えとしては、このような会議があった方がいいということで、内容については、検討を要する部分もあるのではないかと。
委員	せっかくやるのであれば、まちづくり会議の委員をほとんどの人が知らないと思うので、出てくる私たちがもっと周りに呼びかけて、町に言いたいことなど意見を持って出てくるようにすれば、自分だけの意見でなくて、違う意見も言えるのではないかと思う。若しくはチラシでも出して誰でも来てくださいますとすると、本当に意見が言いたい人が来て面白い意見が出るのではないかと。
企画課	前回、広報に載せたという報告をした。皆さんのお名前も載せさせていただいている。前に会議でもそういう話が出ていて、あえてそうしている。ただ年に1回しかやっていない。正に情報発信の話で皆さんに届けるのは本当に難しい。
企画課	結論としては、会議があった方がいい。会議のあり方としては組織を代表する形の方がいいとか、年代別の会議がいいとか、財政・人口の話をするとか議論に制約が出るといったことを付帯意見として加えるということでもいいか。
会長	各年代層となったら、若い人集まってとなると「面倒くさいなあ」となりどそうだ。事業主さんとかに依頼して職員を出してもらっては？
企画課	おそらくそういう形でも出してもらっても、あまり意見は出してもらえないのではないかと思う。年代別というのもあるし、30代以下、40代以下とか女性だけとかにするという形は考えられる。年配の方は比較的自治会などから意見を聞く機会があるが、若い人や女性は比較的機会が少ない。役場としてはそういうところから意見を聞く場にするという考えもある。
支所長	横断的に全町の40歳以下で集まってもらうとか。
会長	丸瀬布だ、白滝だといっていたらいつまでたっても地域工コがなくなる。横断的に集まった方がいい。
企画課	これまで形の中でも全体会議となると40人や30人の会議になっていて、それぐらいの人数になると意見を自由に発言しにくい。やはりこれぐらいか、もう

		ちょっと少ないぐらいの人数が議論には適正な規模かなと思う。だから、地域ごとに数回やって全体会議に報告というスタイルでやってきた。横断的ということも距離的なハードルがあり、仕事終わった後に1時間かけてきてもらうということになってしまう。
	委員	年代別であれば数人となる。
	企画課	それでもどこに集まるかという問題はある。
	委員	リモートではだめか？それが無いといつまでも壁がある。全体会議では個人的に聞くということもできない。いっぱい人がいると手を挙げて聞きづらいというのは正にそのとおりだし。壁がある。
	企画課	それはいいと思う。今回の交付金の中でもリモート会議用のパソコンを6台買うことにしている。一人一台は難しいが…。
	委員	支所に集まってもらえばいい。
	企画課	何人かで1台のPCをシェアしてもらえばできる。
	委員	年代別であれば問題ない。リモートの方がいい。
	会長	全体会議はいつ頃か？
	企画課	12月頃と考えている。来年度の予算については、先に出さなくてはならないが、今回のスローライフ等応援事業のように全体会議にかけなくても反映できる。
	会長	事前に遠藤委員と打ち合わせを。
	企画課	承知した。
3 その他	会長	その他で何かあるか。
	企画課	今週末に新しい道の駅でアイルランドフェアを開催する。アイルランドビールやギネスビール、ウイスキーを提供。なぜアイルランドかというと、家庭学校に1964年の東京オリンピックゆかりの森があり、木のふるさとの一つであるアイルランドとホストタウンとして交流することになった。ぜひご来場いただきたい。
	委員	一つ企画課に聞きたいが、町政懇談会が廃止になったと聞いたがどうなのか？
	企画課	町政懇談会については、自治会連合会からの要請を受けて町から出席するという形でやっていたので、町からやりませんということはないと思う。
4 閉会	会長	これをもって生田原地域まちづくり会議を終了する。

20 : 45 頃終了